



2024/4/13 SAT

平田満企画 「対話を考える」 vol.6

「オープンダイアログをめぐる対話」

プラットフォーム・アソシエイト・アーティストの俳優・平田満発案の企画「対話を考える」第6弾を開催します。今回は、『オープンダイアログとは何か』(医学書院)の著者で、オープンダイアログを第一線で実践している精神科医である齋藤環さんをお招きします。

オープンダイアログはどのようなもので、なぜ人の心を癒やすのか、またその魅力や実践方法についてお話いただくとともに、グループに分かれて、リフレクティングワークとオープンダイアログをロールプレイで体験し、感想や意見などを参加者の皆様と交換いたします。

その終了後に、平田満さんがモデレーターを務める哲学対話を、参加者の中で希望する方と行います。

俳優は「話す」ことよりも「聞く」ことのほうが難しいといわれます。自分ばかり喋って相手の話すことを聞いていないと空っぽの会話になります。表現という自分の考えや感情を表すことだと思いがちですが、それをどう聞いてくれるかで真実味、深みも変わってくるのではないのでしょうか。俳優に限りません。声の大きい人や力を持った人が会話の主導権を握ったり、難しい言葉についていけなかったり、残念な思いを経験した人は多いと思います。コミュニケーションがうまくいかないのはなぜでしょうか？

そのようなことを考えて、「聞く」ということをテーマに、様々な形で「対話」というものを皆さんとともに考える場を作りたいと思いました。聞いてもらえることで自分が尊重されている、考える自由がある、ということを感じたり、人の話を聞き、考えることで固定観念を離れ、本来の自分とは何者かを見つけることができるのではないかと期待しています。

プラットフォーム・アソシエイト・アーティスト 平田満

哲学対話

子どもたちの思考力を養うために70年代にアメリカで始まった「子どものための哲学」に由来する。それは、哲学者の思想を教えたり抽象的な問題について議論したりするのではなく、各人が一人で思索にふけるのでもない。身近な問いから出発して、グループで一緒に問い、考え、話をしていくものである。中学校以上が一般的だが、小学校や幼稚園で行われることもある。いずれにせよ、共に話すことを通して共同で思考を広げ、深めていくのが哲学対話である。

(インクルーシブ・アーツ・フェスティバル2019 HPより)

2024年4月13日〔土〕13:30～17:00

□場所＝穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 A

□募集人数＝40名程度(選考) ご家族や同じ職場のグループ等での参加者優先

□講師＝齋藤環、平田満 □対象＝高校生以上 □参加費＝1,000円

齋藤環(さいとうたまき) 精神科医、筑波大学医学医療系社会精神保健学教授。1961年生まれ。筑波大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。専門は思春期・青年期の精神病理学、病跡学、「ひきこもり」の治療、支援ならびに啓発活動。オープンダイアログ・ネットワーク・ジャパン(ODNJP)共同代表。主な著書に『改訂版社会的ひきこもり』(PHP 新書)、『オープンダイアログとは何か』(著訳、医学書院)、『開かれた対話と未来』(監訳、医学書院)、『まんがやってみたくなるオープンダイアログ』(医学書院)ほか多数。



齋藤環

応募方法

■申込締切：2月29日〔木〕17:00必着

■申込：オンライン＝劇場ホームページの専用申込フォームより必要事項を記入して送信

窓口・FAX＝参加申込書に、必要事項を記入の上、プラット一階窓口、

プラットチケットセンター(0532-39-3090)またはFax(0532-55-8192)

お問合せ：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町 123 番地

TEL 0532-39-8810 FAX 0532-55-8192

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団



申込書

平田満企画「対話を考える」vol.6

『オープンダイアログをめぐる対話』

ふりがな

年齢・年代

名前

職業 / 学校名・学年

住所 〒

電話番号

FAX 番号

MAIL

@

ご家族や同じ職場のグループ等でのご参加の有無

無・有

哲学対話への参加希望

希望しない・希望する

応募動機（一緒に参加する方が「有」とご回答の方はお相手様のお名前をご記入ください。）

FAX 0532-55-8192

2024年2月29日[木]17時必着

穂の国とよはし芸術劇場